



エトルリアを知らずして イタリアに行くことなかれ！

—イタリアの至宝=エトルリア文明と D.H.ロレンス—

ローマ以前からイタリア本土（主にトスカーナ地方）で栄えた謎多き古代の国エトルリア。ローマによって滅ぼされたと考えられているエトルリアの文化遺産は、現代のイタリアで最も大切にされています。『チャタレイ夫人の恋人』で知られるイギリスの小説家 D.H. ロレンス(1885-1930)は、人生最後の旅行先にエトルリアを選び、絶筆となった紀行文『エトルリアの故地』にその魅力を綴っています。『エトルリアの故地』からロレンスが訪れた遺跡を辿り、ロレンス独自の感性や想いを読み取ります。

日時：2019年11月21日（木）14:40～16:10

会場：静岡県立大学国際関係学部棟3階3316講義室

講師：立田 洋司氏（静岡県立大学名誉教授）



どなたでもお気軽にご参加下さい